

# 県造園協だより

2010年

第 68 号

平成二十二年十月二十五日発行



五葉松

## 協会スローガン

- 一、造園技術技能の向上を図り、社会的  
要望に応えよう。
- 二、造園業経営の体質改善を図り、業界  
の自主性を社会的に確立しよう。
- 三、組織の強化を図り、活力ある造園業  
界を育てよう。

編集人 新潟県造園建設業協会

## 目次

|                    |   |
|--------------------|---|
| 一、会長 あいさつ          | 2 |
| 二、三部会事業活動紹介        | 2 |
| 三、第三十七回通常総会        | 3 |
| 四、平成二十二年 技能検定予備講習会 | 3 |
| 五、「竹切りツアー」の今後について  | 4 |
| 六、支部の活動と現況報告       | 5 |
| 七、編集後記             | 6 |

# 会長 あいさつ

新 保 正文

第三十七回通常総会で承認して頂き二期目を迎えました。

今後もよろしくお願い致します。

さて、社会情勢も経済の状況もいまだ改善の方向が見出せない中、会員の皆様も厳しい経営をせざる得ない状況ではないかと思えます。

私自身も厳しい経営状況に置かれています。この状況を解決する方法はそう簡単には見つけないかと思えます。現在の仕事を精一杯行い、質を上げていく事が重要ではないかと思っております。また、良い仕事を重ねる事で信用と信頼を得ることになると考えます。

協会以外で、「東小千谷夢あふれる街づくり」活性化協議会の活動に参加し、この中の食品委員会に所属し、野菜の直売所、惣菜店のオープンに向け話し合いを続けています。

この取り組みは、私の仕事とは直接関係は有りませんが、地域の抱える問題に係わりを持って取り

組む中に仕事のチャンスが有ると思っております。なかなか余裕がなく大変ですが、地域の中で仲間を作っていく事、同業者以外の仲間をつくることも重要だと思いい活動しています。

協会運営は、各支部の評議員で執行部の体制を整え、会員の方々の為になるよう、三部会で活動を続けています。会員全員の為になっているのかと言う疑問が残りますが、会の目的の一つは、仲間作りだと感じていますので、各支部が行なう活動により多くの会員が参加し、なおかつ各支部の活動が活発になることが、当協会の発展につながる事だと願っています。二期目のご挨拶とさせていただきます。



## 三部会事業活動紹介

### 総務部

総会・視察研修等を中心に会員の親睦を目標に活動を行う。

### 指導部

技能検定を中心に活動し、冬期講習会を開催して、技術、技能の向上と更なる知識の向上に向けた活動を行う。

### 経営研究部

樹木単価本の制作と佐渡竹切りツアーを中心に、情報提供と社会貢献の活動を行う。

### 冬期講習会実施

- 日時 平成二十二年三月二十六日(金) 午後一時三十分
- 会場 協会会議室
- 講師 樹木医 佐藤賢一様
- 演題 樹木と共生「マツ類の葉枯性病害の診断と防除」
- 参加者 四十名



### 竹切りツアー実施

- 日時 平成二十二年三月七日(日)・八日(月)
- 実施場所 佐渡市河崎地内
- 参加者 二十七名

### 技能検定予備講習会実施

- 学科講習会 七月十一日(日) 協会会議室
- 受講者 一級 十三名
- 二級 二十六名

### 実技予備講習会

- 第一回 七月四日(日) 保内工業団地
- 受講者 一級 二十四名
- 二級 二十七名
- 第二回 七月二十五日(日) 保内工業団地
- 受講者 一級 二十六名
- 二級 二十八名

### 技能検定試験

- 学科試験 八月二十二日
- 要素試験 八月二十八日
- 実技試験 八月二十九日・三十日
- 受検者数 一級 三十八名
- 二級 五十二名
- 合格発表 十月上旬

# 第三十七回 通常総会

日時

平成二十二年二月十二日(金)

午後二時より

会場

新潟東映ホテル

一. 開 会

二. 会長あいさつ

三. 出席人員報告

代議員数 二十七名  
(出席二十三名、委任状四名)

四. 議長選任

柏崎支部

(有)秀庭園事務所 入澤秀隆様

五. 議事録署名人名並びに書記任命

議事録署名人

上越支部

(有)頸城園芸 今川義英様

上越支部

加藤造園 加藤松一様

書記 事務局

六. 議 事

第一号議案

平成二十一年度事業報告並びに収支決算の承認について

監査結果報告

第二号議案

平成二十二年事業計画並びに収支予算(案)について

第三号議案

平成二十二年度会費額並びに納入方法について

第四号議案

平成二十二年入会金額並びに納入方法について

第五号議案

平成二十一年度技能士会収支決算の承認について

監査結果報告

第六号議案

役員改選について

講演会

午後三時三十分～五時

演 題

「得意技の発見と売り方・見せ方」

講 師 中小企業診断士

川村明正様

総会懇親パーティー

午後五時～

## 平成二十二年 技能検定予備講習会

指導部長 佐藤 富士夫

本年最初の会合が五月に開催され、新潟県造園技能検定試験協議会は八月末の検定試験に向けて動き出しました。新たに指導部役となったメンバーには真夏の作業の大変さを説明しつつ、自身に向けても受験生の為に準備作業を滞りなく進めていこうと気を引き締めておりました。

七月四日、二十五日の予備講習会には一級二十三人、二級二十五人が受講し講師の指導の下熱心に実技講習を受けていました。疑問

点は講師に質問したり、あるいは受講者同士で解決したりする姿が見られました。講習会には要素試験対策として、一、二級あわせて百種以上の樹木の枝が用意されます。これは保内造園組合の皆さんのご協力で集められたものです。なかには見慣れない木や、名前は聞いたことがあっても実物は見たことがない木まで揃えられており、私自身も大変勉強になりました。受講者も写真やメモをとりしっかりと覚えようと努力していま



した。

しかしながら二回の予備講習会を受講しても技能検定では合格できません。仕事の合間や休日には練習に励み、受験者自身が身体を動かして体得しなければ課題をクリアし合格することは難しいでしょう。県造協だよりが発行される頃には結果が出ているかもしれませんが、来年以降に受験される方、あるいは事業所様にはぜひひと練習が大事だということを覚えておいてください。ひと夏の間努力したものは一生の宝と成り得ます。



## 「竹切りツアー」の今後について

経営研究部長 松 木 博 明

「竹の島・佐渡」として古くは「エジソンのフィラメント」に始まり、陸上競技の「棒高跳びの棒」として、「白根の大風」の竿として日本国内にその優秀さを知られた佐渡の竹も今はその需要も激変し、その生産者（伐採・搬出業者）にも高齢化という時代の波の中で存続の危機に面している状態が続いてきました。

そんなおり、協会事業の「竹切りツアー」の参加者による協力のものと、少しでも荒廃した佐渡の竹藪を再生させようという動きが、僅かでも佐渡の中で起きたことに心より感謝し、また期待しております。

さて、「竹切りツアー」を重ねるたびに思う事は、その後の竹藪がどうなるのかまたどう使われているかということでした。そこでこの二年間は、定点観測の意味も含め、誰もが行わなかった全林伐採による竹林の再生観察をさせてもらいました。その結果はまだはっきりとは出ませんが、予測通

り六寸以上の大径の竹が一寸から三寸の小径の竹に替わったことと、その植生密度がはるかに増したことが確認できました。

この事により大径化し荒廃した佐渡の竹林の再生が可能で、なおかつ我々造園業者が最も使う三寸から四寸の竹が計画的に生産する事が出来る見通しが立った様に思えます。

今後も「竹切りツアー」を出れば同じ場所でも継続して頂き、竹藪の変化を皆で感じ、予測を現実の物として佐渡の「竹」復活の糸口になればと思います。

最後に過去五年以上に渡り、「竹切りツアー」に多数の会員参加者を得たこと、その継続のためにご尽力くださった役員の方々的心より感謝いたします。



## 緑化管理のお手伝い機器シリーズ



ハイブリッドスタート  
刈払機 “押すだけ”  
BC2650DW-Hb

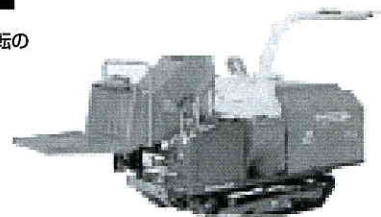
- 排気量・25.4cm<sup>3</sup>
- 質量・5.3kg

ハイブリッドスタート  
押すだけ

### チップシュレッダ SR3000-1

大径送りローラを採用、カッタの切断力と制御回転の最適化により、クラスを超えた処理速度を実現。

- 最大処理径 170mm
- 機械質量 1330kg
- 定格出力 20.6kW(28PS)



<http://www.e-komatsu.com/niigata/>

# 支部の活動と現況報告

## 新潟支部

情報編集委員 遠藤 均

新潟支部の活動については、協会スローガン「技術の向上」、「社会貢献」、「業界発展」の三つのスローガンに即した形で活動しています。具体的には、年初めの新年会、そして通常総会で意見の交換を行い、有意義な活動の展開を目指してきています。

庭園実技講習会と称して、一般の方々を対象に年四、五回樹木の



庭園実技講習会の様子（砂丘館にて）

剪定や冬囲い等の講習会を行っています。三社の代表講師と二十人前後の一般の方々とレベルに合わせたグループを作り、半日もしくは、まる一日をかけて、基本技術から応用テクニックまでを講習しています。

ここ数年前から夏には親睦を深める納涼会を行っています。ただの飲み会と言ってしまうと、それまでですが、年三回、飲みながらの情報交換も有意義なものです。今年、東映ホテルビアガーデン

にて、行われました。

新潟支部も年々会員数が減少して来ている為、活動資金がギリギリではありますが、技術・技能の向上支部活動の活発化・本部活動への助言と支援を目的に活動しているところです。

今後さらなる技術の習得、情報の収集のために中心的役割となる県造協の発展をご祈念申し上げます。

## 長岡支部

長岡支部長 佐藤 富士夫

年初めには湿った雪による倒木や枝折れの被害、春は低温、そして記録的な猛暑と異常ともいえる半年でした。

### 上期活動報告

二月 視察研修 東京方面

三月 佐渡竹きりツアー参加

冬期講習会参加

四月 東京フラワー&ガーデン

ショー視察

五月 長岡市花いっぱいフェア参加

六月 悠久山公園剪定奉仕活動

七月 技能検定合同練習開始

『豊かな土を創る』

## 株式会社ホーネンアグリ

〒949-5414 新潟県長岡市飯塚1986番地  
TEL 0258-92-3890(代)

URL: <http://www.honenagri.com> E-mail: [honen@honenagri.com](mailto:honen@honenagri.com)

弊社では、剪定枝、モミ殻等をリサイクルし、さまざまな用途に合った各種培養土の製造、販売を行っております。有機資源を活用し、循環型社会の実現に貢献したいと考えております。お気軽にお問い合わせ下さい。

### 緑化用資材

ベストソイルP1号（仮植用土）  
ベストソイルS号（植栽用土）  
モミライト（モミ殻堆肥）

リサイクルマルチ（マルチング材）  
ベストソイルP2号（プランター用土）

ベストパーク（パーク堆肥）  
緑の堆肥（土壌改良材）

三条支部

支部長 重 泉 芳 道

今回で三年目、三回目の保内地区の里山における樹木調査を行いました。前回までは全般的な樹木の種類を調べましたが、今回は山中には山桜が多く点在しているので山桜の調査を行いました。保内地区の山桜は、江戸時代から明治にかけて植栽されたもので古いもので樹齢四百年の木を見ることもできます。開花時期は吉野桜より半月遅れで満開となり、五月五日前後となります。調査結果は樹齢四百年の木が一本、三百年が三本、百五十年が十本となりました。今回は仕事のいそがしい時期でもあり、少人数での調査となりましたが今後とも支部会員の方々の協力を得ながら続けて行きたいと思えます。調査場所は保内トレッキングコース（中部北陸遊歩



山桜の計測作業風景

道)周辺となりますので、ぜひお時間がありましたら歩いてみてはいかがでしょうか。

柏崎支部

支部長 入 澤 秀 隆

三月四日、県造協支部総会を開く。

各社の現況、また今後の展開など意見交換を行なった。

なお、三月七日・八日に行なわれた『佐渡 竹切りツアー』には池忠造園・尾崎造園・秀庭園事務所の若手後継者三名が参加。

前支部長である小池造園社長に引率をしていただいた。

今後、竹切りツアーが続く限り、若い者達の参加を大いに期待したい。



五葉松

編集後記

今年度より情報編集委員長を仰せ付かった野俣です。久しぶりの発行のような気がする県造協だよりですが、今年からは頑張って発行していきたいと思えますので宜しくお願いします。

さて今年の夏は皆さんどう過ごされたでしょうか。我が家は庭に芝を張ったりプランターに寄せ植えをしたりと張り切ったのはいいのですが、新潟地域はこの夏ほとんど雨が降らず、さらに地獄の猛暑でいくら水をやっても花は枯れ、芝は茶色になる等大変な思いをしました。会社でも社員が熱中症で具合が悪くなって休んだりしたので、健康対策に気を使いました。猛暑の中での植木の手入れが一段落してホッとしましたがそれもつかの間で、気が付けば後もう少しで冬の準備になります。昨冬、新潟は年末と二月の大雪で交通が完全に麻痺し、大変迷惑しましたがその反面、枝折れの処理や除雪で暇な時期の良い手間仕事になりました。今年の冬がどうなるかは分かりませんが、備えあれば憂い無しということ準備万端で冬を迎えたいと思えます。

情報編集委員長  
新潟支部 野 俣 剛 直

新しいミニの基準  
キャタピラーからDシリーズ新登場！

販売・サービス・レンタルのご用命は...

キャタピラー-カストジャパン



305.5DCR

新潟本店 TEL 025-266-9171